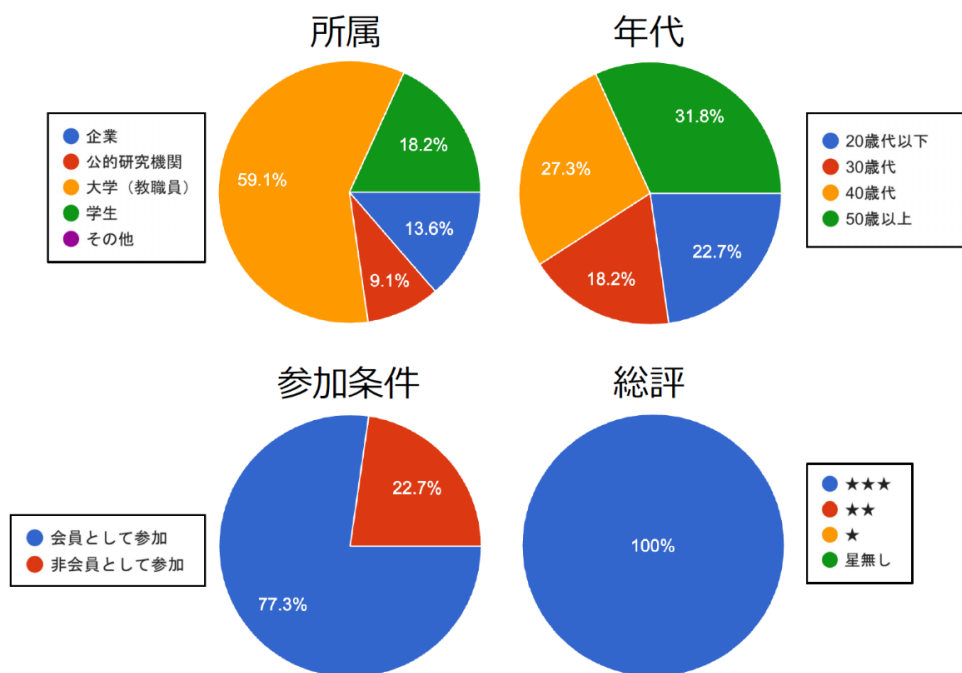
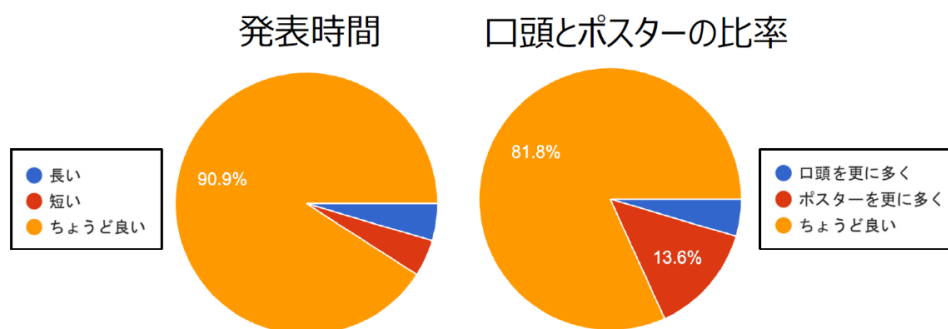
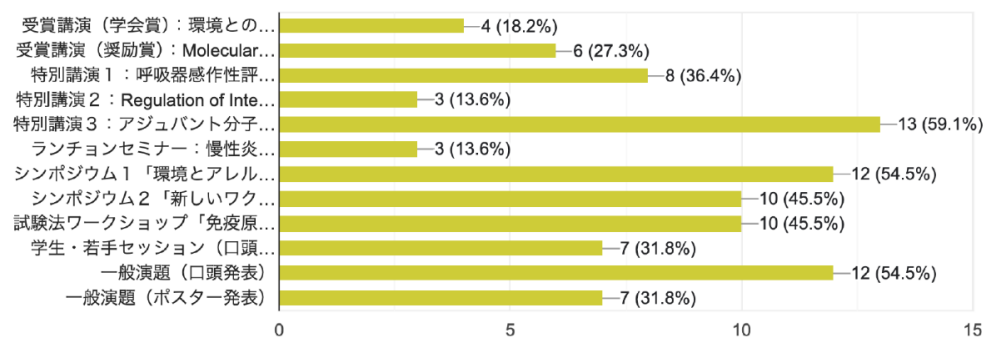
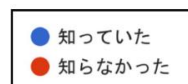
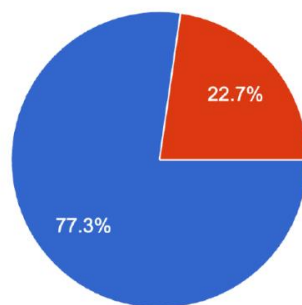




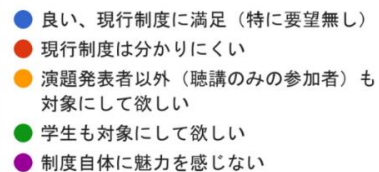
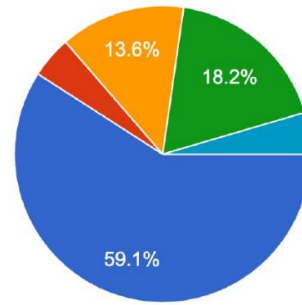
興味を持った講演やセッション（複数回答）



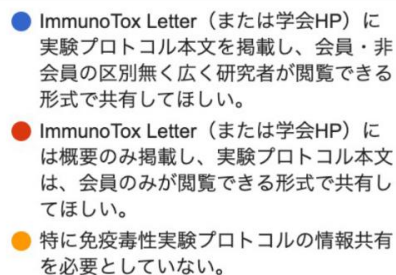
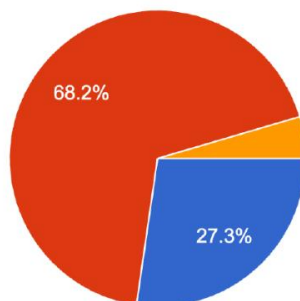
非会員の入会初年度
年会費無料制度
の認知度



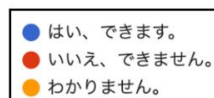
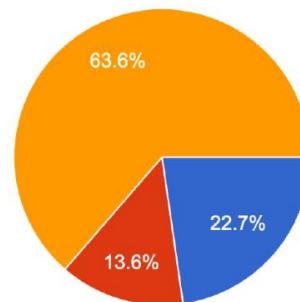
非会員の入会初年度
年会費無料制度
についての要望



免疫毒性実験プロトコル
への希望



免疫毒性実験プロトコル
への実験プロトコルの提供
について



年代	所属	参加条件	総評	2. 1) ②-a 興味を持たれた講演やセッションはどれでしょうか？	②-b 上記セッション（シンポジウム1, 2・試験法ワークショップ・学生若手・一般口演・一般ポスター）の中で特に興味を持たれた演題について聞かせてください。
50歳以上	大学（教職員）	会員として参加	★★★	受賞講演（奨励賞）：Molecular mechanisms of pathogen sensors-mediated cytokine production from innate immune cells, 特別講演3：アジュバント分子発現弱毒生ワクチンによるエイズ予防・治療ワクチンの開発, シンポジウム2「新しいワクチン・免疫療法の有効性と安全性」, 試験法ワークショップ「免疫原性評価」	特別講演3
50歳以上	大学（教職員）	会員として参加	★★★	受賞講演（学会賞）：環境との相互作用の中で生命を衛る医学の源流：免疫毒性学—細分化された研究から統合的視点をもった研究へ—, 受賞講演（奨励賞）：Molecular mechanisms of pathogen sensors-mediated cytokine production from innate immune cells, 特別講演1：呼吸器感受性評価法の開発, 特別講演2：Regulation of Intestinal Macrophage and CD4 T Cell Differentiation in Autoimmunity: The Role of Aryl Hydrocarbon Receptor-Microbiome Interactions., 特別講演3：アジュバント分子発現弱毒生ワクチンによるエイズ予防・治療ワクチンの開発, シンポジウム1「環境とアレルギー—最新知見」, シンポジウム2「新しいワクチン・免疫療法の有効性と安全性」, 学生・若手セッション（口頭発表・ポスター発表）, 一般演題（口頭発表）, 一般演題（ポスター発表）	
50歳以上	大学（教職員）	会員として参加	★★★	特別講演1：呼吸器感受性評価法の開発, 特別講演3：アジュバント分子発現弱毒生ワクチンによるエイズ予防・治療ワクチンの開発, シンポジウム1「環境とアレルギー—最新知見」, シンポジウム2「新しいワクチン・免疫療法の有効性と安全性」	SL-01 善本先生
50歳以上	大学（教職員）	会員として参加	★★★	受賞講演（学会賞）：環境との相互作用の中で生命を衛る医学の源流：免疫毒性学—細分化された研究から統合的視点をもった研究へ—, 受賞講演（奨励賞）：Molecular mechanisms of pathogen sensors-mediated cytokine production from innate immune cells, 特別講演1：呼吸器感受性評価法の開発, 特別講演2：Regulation of Intestinal Macrophage and CD4 T Cell Differentiation in Autoimmunity: The Role of Aryl Hydrocarbon Receptor-Microbiome Interactions., シンポジウム1「環境とアレルギー—最新知見」, 試験法ワークショップ「免疫原性評価」, 学生・若手セッション（口頭発表・ポスター発表）, 一般演題（口頭発表）	試験法WS
40歳代	大学（教職員）	会員として参加	★★★	受賞講演（学会賞）：環境との相互作用の中で生命を衛る医学の源流：免疫毒性学—細分化された研究から統合的視点をもった研究へ—, 受賞講演（奨励賞）：Molecular mechanisms of pathogen sensors-mediated cytokine production from innate immune cells, 特別講演3：アジュバント分子発現弱毒生ワクチンによるエイズ予防・治療ワクチンの開発, ランチョンセミナー：慢性炎症性疾患としてのアスベスト関連疾患の病態と最新の治療トピックス, シンポジウム1「環境とアレルギー—最新知見」, シンポジウム2「新しいワクチン・免疫療法の有効性と安全性」, 学生・若手セッション（口頭発表・ポスター発表）, 一般演題（口頭発表）	シンポジウム1
40歳代	大学（教職員）	会員として参加	★★★	ランチョンセミナー：慢性炎症性疾患としてのアスベスト関連疾患の病態と最新の治療トピックス, シンポジウム1「環境とアレルギー—最新知見」, 一般演題（口頭発表）	平原潔先生、森田英明先生、南俊行先生の講演
40歳代	企業	会員として参加	★★★	特別講演3：アジュバント分子発現弱毒生ワクチンによるエイズ予防・治療ワクチンの開発, 試験法ワークショップ「免疫原性評価」	P-10
30歳代	公的研究機関	会員として参加	★★★	試験法ワークショップ「免疫原性評価」	WS-02
30歳代	企業	非会員として参加	★★★	特別講演3：アジュバント分子発現弱毒生ワクチンによるエイズ予防・治療ワクチンの開発, シンポジウム1「環境とアレルギー—最新知見」, 試験法ワークショップ「免疫原性評価」	特別講演3
20歳代以下	学生	会員として参加	★★★	受賞講演（奨励賞）：Molecular mechanisms of pathogen sensors-mediated cytokine production from innate immune cells, 特別講演3：アジュバント分子発現弱毒生ワクチンによるエイズ予防・治療ワクチンの開発, シンポジウム2「新しいワクチン・免疫療法の有効性と安全性」, 学生・若手セッション（口頭発表・ポスター発表）	特別講演2
20歳代以下	学生	会員として参加	★★★	シンポジウム2「新しいワクチン・免疫療法の有効性と安全性」, 試験法ワークショップ「免疫原性評価」, 学生・若手セッション（口頭発表・ポスター発表）, 一般演題（口頭発表）	CpG ODN-mediated immunoprophylaxis against viral infection

年代	所属	参加条件	総評	2. 1) ⑤ その他ご感想等 ありましたら御願います。	2. 2) ② 学術年会Web 開催の今後のあり方につ いて、今後取り上げてほしいテ ーマ、若手セッションのあり方、パ ナー広告主からの情報（事 務局送信メール文末のJSIT BLINC News）への興味、 その他ご意見等ありましたらご 記入下さい。	3. 日本免疫毒性学会の今 後の活動や方向性等につ いて、ご意見やご提案等ありま したら、ご記入ください。	4. ImmunoTox Letter (6月と12月の年に2回発行し ている学会誌；日本語と英語 版があり、それぞれのpdf版を 学会HPに掲載中) について、 ご意見、ご提案等ありましたら ご記入ください。
50歳以上	大学（教職員）	会員として参加	★★★	駅からも近く快適な会場で、 テーマ性もはっきりしたよい年 会でした。	もっと産業界の研究者の発表 を多く聞きたいです。	ICH S8の改訂を目指した、 産官学の協力体制の整備を 本学会主導で進めていただき たいです。	もう少し遊び心があってもいい かもしれません。
50歳以上	大学（教職員）	会員として参加	★★★	かなりタイトで、質問時間確 保も大変そうでした。マルチ ルームの検討もあかな、と思 いました。			
50歳以上	大学（教職員）	会員として参加	★★★	アカデミックな内容はもちろ んのこと、運営スタッフの皆さま、 会場設備に至るまで、とても 素晴らしい学会でした。			
40歳代	大学（教職員）	会員として参加	★★★	試験法ワークショップの総合 討論の時間がもう少し長くても 良いのではと思います。 あのdiscussionのおかげで、 製薬会社が実際にどのような ポリシーで安全性試験を行っ ているのかを知ることができま すので、アカデミアの私にとっ ては非常に意義で大変勉強 になります。		若手優秀発表賞の年齢制 限を30歳から35歳に変更 し、受賞者を1人から2～3人 に増やしても良いのではと思 います。	
30歳代	企業	非会員として参加	★★★	運営ありがとうございます。免 疫毒性学は初学者ですが、 いつもエキサイティングな研究 発表と議論に刺激を受けてお ります。今後とも宜しくお願い します。			
20歳代以下	学生	会員として参加	★★★			ポスターの左右の間隔を最低 限横に立てるように広げてほ しい。	